

# あいかわ 議会だより

第179号

令和5年11月15日発行

## 塩川滝に続く道

- 議会新体制が決定 ..... P.2・3
- 令和4年度各会計決算を認定 ..... P.4
- 国へ意見書3件を提出 ..... P.10・11
- 意見交換会に対する町からの回答 ..... P.19

議会クイズ 抽選で3名の方に  
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP18をご覧ください



# 人事決定

各常任委員会など



やまなか まさき 山中 正樹 副議長



い で かずみ 井出 一己 議長

※議席番号順

## 第3回 臨時会

10月16日に、令和5年第3回愛川町議会臨時会が開かれました。この臨時会では、正副議長をはじめ、議会選出監査委員、議会運営委員会委員及び各常任委員会委員の選任などを行いました。

# 議長に井出一己氏 副議長に山中正樹氏



くまなか けんたろう 熊坂 健太郎

1 期目

議席番号 4  
愛川の新時代



はなうえ いさお 花上 功

1 期目

議席番号 3  
愛川の新時代



かや たかゆき 茅 孝之

2 期目

議席番号 2  
令和あいかわ



かや ひろむ 茅 大夢

1 期目

議席番号 1  
愛川の新時代



い で かずみ 井出 一己

5 期目

議席番号 11  
公明党



やまなか まさき 山中 正樹

6 期目

議席番号 10  
愛川の新時代



わたなべ もと基 渡辺 基

5 期目

議席番号 9  
愛川の新時代

◎委員長 ○副委員長 (敬称略)

令和5年10月16日時点

議会運営委員会 (委員定数 7人以内)		会派構成 (◎は代表者)	
◎佐藤 りえ	○渡辺 基	愛川の 新時代	◎渡辺 基 山中 正樹 花上 功 熊坂 健太郎 茅 大夢
茅 大夢	岸上 敦子	公明党	◎佐藤 りえ 井出 一己 岸上 敦子
鈴木 信一	井上 博明	日本共産党 愛川町議員団	◎鈴木 信一 井上 博明 小林 敬子
阿部 隆之		令和 あいかわ	◎茅 孝之 小島 総一郎 阿部 隆之



阿部 隆之 監査委員

監査委員

監査委員は、識見を有する者と議会議員の2名で構成しており、議会議長の監査委員に阿部隆之議員を選任することに同

意を求める議案が提出され、賛成全員で同意しました。

その他人事関係

◎厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙

申し合わせの任期満了に伴い、厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙が行われ、井出一己議長、井上博明議員、渡辺基議員、茅孝之議員の4人が選出されました。

# 議会役職

正副議長、議会運営委員会、



鈴木 信一

3期目

議席番号 8  
日本共産党愛川町議員団



阿部 隆之

3期目

議席番号 7  
令和あいかわ



佐藤 りえ

4期目

議席番号 6  
公明党



岸上 敦子

3期目

議席番号 5  
公明党



ぜひ傍聴にお越しください！



井上 博明

11期目

議席番号 14  
日本共産党愛川町議員団



小林 敬子

6期目

議席番号 13  
日本共産党愛川町議員団



小島 総一郎

8期目

議席番号 12  
令和あいかわ

## 広報広聴常任委員会

(委員定数 8人)

◎鈴木 信一	○熊坂 健太郎
茅 孝之	花上 功
岸上 敦子	佐藤 りえ
阿部 隆之	小林 敬子

## 教育民生常任委員会

(委員定数 7人)

◎岸上 敦子	○小林 敬子
茅 孝之	熊坂 健太郎
阿部 隆之	渡辺 基
山 中 正 樹	

## 総務建設常任委員会

(委員定数 7人)

◎井上 博明	○小島 総一郎
茅 大 夢	花上 功
佐藤 りえ	鈴木 信一
井 出 一 己	

2023

愛川町議会

令和5年第3回愛川町議会「9月定例会」が、8月29日から9月15日まで、会期18日間（本会議開催5日間）にわたり開催され、令和4年度各会計の決算をはじめ、教育委員会委員の任命、条例及び補正予算など、12件の町長提出議案、5件の議員提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、4件の陳情を審議しました。

令和5年第3回議会定例会日程

月	日	曜日	会議名	主な内容
8	29	火	本会議	陳情4件の所管常任委員会への付託 教育委員会委員任命の採決 損害賠償額の決定 町長提出議案の説明 議員提出議案の説明・質疑・採決 議会改革推進特別委員会中間報告
	30	水	本会議	一般質問（7人）
4	月	本会議		補正予算議案の総括質疑・討論・採決
5	火	本会議		条例議案及び令和4年度決算議案の会派代表総括質疑委員会分割付託の決定
7	木	総務建設常任委員会		付託案件の審査
8	金	教育民生常任委員会		付託案件の審査
9	11	月	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	12	火	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	15	金	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・質疑・討論・採決

令和4年度決算を認定

**令和4年度 各会計決算額**

会 計		歳 入	歳 出
一 般 会 計		150億6,042万3千円	143億392万1千円
特 別 会 計	国民健康保険	46億8,551万7千円	46億4,918万1千円
	後期高齢者医療	5億9,469万1千円	5億6,633万円
	介護保険	33億2,275万2千円	32億2,738万円
企 業 会 計	公共下水道事業	14億4,044万円	17億6,097万7千円
	水道事業	8億9,019万4千円	10億5,383万4千円
合 計		259億9,401万7千円	255億6,162万3千円

人事議案

◎教育委員会委員の任命  
 （賛成全員）  
 任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することに同意しました。

海老名市在住  
 梅澤 秋久 氏

条例議案

◎愛川町印鑑条例の一部改正  
 （賛成全員）

関係法の一部改正に伴い、従来のマイナンバーカードのほか、スマートフォン等にも電子証明書を搭載することが可能となったことから、当該スマートフォン搭載の電子証明書を使用し、申請者がコンビニエンスストア

等にて設置されている端末機を操作することで印鑑証明書を取得できるよう、条例の一部改正を可決しました。

◎令和5年度愛川町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ8,873万2千円を追加し、一般会計の総額を144億3,021万6千円としたものです。



交差点のカラー舗装工事が実施されます。

◎令和5年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）  
 （賛成全員）

主な内容は、交通安全対策事業の一環として、道路区画線が消えかけて危険度が高いと判断した町道5か所への道路区画線設置工事及び交差点2か所へのカラー舗装工事を実施するほか、愛川聖苑内の一部の空調設備について、老朽化により室外機及び室内機の更新が必要であることから、改修工事を実施します。

主な内容は、令和4年度に概算交付された介護給付費負担金及び地域支援事業費交付金の精算に伴い、超過額を返納します。

補正予算

令和6年1月1日

【施行期日】

証明書を発行し、申請者がコンビニエンスストア

◎後期高齢者医療特別会計決算  
 （賛成11人、反対3人）

◎国民健康保険特別会計決算  
 （以上、賛成全員）

◎一般会計決算

◎介護保険特別会計決算

◎公共下水道事業会計決算  
 ◎水道事業会計決算  
 （以上、賛成全員）

※議長は表決に含まず。

事件議案

■損害賠償額の決定

◎職員の仕事遂行上の過失に係る損害賠償

(賛成全員)

田代運動公園地内にて職員が刈払い機により除草作業を行っていたところ、小石を跳ね上げ、同公園内駐車場に駐車中の自動車に損害を与えたため、本町の義務に属する損害賠償額を定めました。

損害賠償額

61万3,217円

議員提出議案

◎愛川町議会委員会条例の一部改正条例の制定

(賛成全員)

災害等の発生、感染症の蔓延防止措置等または育児、介護等のやむを得ない事由により、委員会を開会する場所への委員等の参加が困難であると委員長が認める場合には、オンライン会議システムにより、委員会の会議に出席することを認め、か

つ委員が出席委員として会議に参加するため、委員会の開会方法の特例等を規定する必要があることから、条例の一部を改正しました。

【施行期日】 公布の日

◎愛川町議会委員会条例の一部改正条例の制定

(賛成全員)

令和5年10月の一般選挙より、議員定数が16人から14人となることに伴い、改選後の委員会活動が円滑に行われるよう、委員定数を左表のとおり改正しました。

【施行期日】 次の一般選挙後、最初に開催される

議会の招集日

委員会名	改正前定数	改正後定数
議会運営委員会	8人以内	7人以内
総務建設常任委員会	8人	7人
教育民生常任委員会	8人	7人
広報広聴常任委員会	10人	8人

各委員会の定数が改正されます。

◎国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出について

(賛成全員)

すべての子どもたちが全国どこに住んでいても一定水準の教育を受けられるよう、教育予算の確保と義務教育費国庫負担制度等の教育水準の維持・向上を図るため、意見書を提出します。

◎保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書の提出について

(可否同数につき、議長裁決により可決)

保育施設の職員配置基準は長い間見直しがされておらず、責任と見合わない処遇から離職や新規採用者が集まらない状況にあり、人員不足が一層深刻化しているため、離職防止と人材確保に向け、必要な財源を十分に確保していただくための意見書を提出します。

◎現行の(紙の)健康保険証の存続を求める意見書の提出について

(賛成8人、反対6人)

令和5年6月2日、健康保険証の廃止を含む「番号法等改定法案」が成立し、マイナンバーカードへの一本化(マイナ保険証)が基本となることが決まりましたが、トラブルが相次ぎ、住民の不安が広がっています。国はマイナンバーカードを取得しない人に対し、保険証の代わりとなる資格確認書を発行する方針を明らかにしていますが、従来、保険料の納付により健康保険証が自動的に手元に届くことで無保険扱いにならず、いつでも医療が受けられる制度となつていきます。

制度やシステムの正確性や安全運用を考慮せず、国民の理解・賛同も得られない中で、現行の(紙の)健康保険証を廃止することは妥当ではないと判断し、紙の健康保険証

の存続を求めるため、意見書を提出します。



※可決した意見書の詳細は10・11ページに記載

個人総括質疑

補正予算議案に対し、阿部隆之議員、山中正樹議員が質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

保育所施設維持管理経費増額

増額の詳細について

愛川聖苑施設維持管理経費増額

増額の詳細について

介護保険特別会計 社会保険診療報酬支払基金精算返納金増額

返納金増額の内容について

交通安全施設整備事業費増額

増額の詳細について

給食一般管理経費増額

増額の詳細について

介護保険特別会計 事務費繰入金増額

一般会計から繰入れた理由について

議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。

☎046・285・2111  
(内線3792)

# 会派代表総括質疑

## 令和4年度決算議案に対する

4日目の9月5日は、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

### あすかみらい (小島総一郎議員)

**問** ごみの減量化、資源化等における主な取り組みの成果について

**町長** 町広報紙での周知啓発や、生ごみ処理容器の購入補助等を実施した結果、ごみの年間総排出量が減少した。

本町では循環型社会の構築に向け、第3次の一般廃棄物処理基本計画において、長期的視点に立った具体的な施策や数値目標を掲げ、ごみの減量化と資源化に向け、取り組んでいます。

主な取り組み状況は、町広報紙において、ごみの分別、リサイクル等の特集記事を掲載し、周知啓発を図っているほか、生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器の購入に対する補助を実施するなど、生ごみの減量化対策にも取り組んでいます。また、昨今のプラスチック

ごみの排出削減、地球温暖化対策の推進を目的とし、令和4年に施行されたプラスチック資源循環促進法の趣旨を踏まえ、令和4年度から美観プラントに直接持ち込まれるプラスチック使用製品を選別回収し、専門業者にリサイクルを委託することにより、使用済みのプラスチック製品の資源化にも取り組んだことで、これまで破砕処理後に焼却していた使用済みプラスチック製品を、約11トン資源化することができました。

このほか、令和5年3月に不用品リユース事業者との協定を締結し、不用品を廃棄物として捨て

ずに再利用する仕組みを導入するなど、廃棄物削減と循環型社会の形成に取り組んできました。

こうした様々な取り組みを展開した結果、令和4年度における年間のごみ総排出量は1万2,219トンで、令和3年度と比較すると、480トンの減量化が図られ、1人1日当たりのごみ排出量についても、令和3年度の880グラムから849グラムに減少するなどの成果がありました。

(その他の質疑項目)

【令和4年度の施政方針において、子育て、教育に配慮した未来投資型予算とした、その主な成果について】

ほか5問

町は、株式会社マーケットエンタープライズと連携協定を締結し、リユースの推進を行っています。(広報あいかわ5月号より抜粋)

**あいかわごみゼロ・クリーンキャンペーン**  
5月28日(日)午前8時～10時



集合場所

区	集合場所
東区	市民会館(東区) 東区公民館
南区	市民会館(南区) 南区公民館
西区	市民会館(西区) 西区公民館
北区	市民会館(北区) 北区公民館
中央区	市民会館(中央区) 中央区公民館
東区	市民会館(東区) 東区公民館
南区	市民会館(南区) 南区公民館
西区	市民会館(西区) 西区公民館
北区	市民会館(北区) 北区公民館
中央区	市民会館(中央区) 中央区公民館

越境した樹木の枝の切除に関するルールが変わります

不要品はリユース(再利用)を検討しましょう

### 日本共産党 愛川町議員団 (鈴木信一議員)

**問** 積立金が、前年度と比較して62%減少した主な要因について

**町長** 主な要因は、公共施設整備基金への一般財源積立が令和3年度と比較し、4億7,000万円の減となったため。

増額となったものは、ふるさと納税分の積立金がラッシュジャンパンの返礼品に人気が集まったことにより、各基金合わせて5,100万円余りの増となったほか、コロナ対策の財源として、いのちを守る基金へ3年度は3,000万円、4年度は5,000万円を積み立てたことから、2,000万円の増となりました。

一方で、減額となったものは、公共施設整備基金への一般財源積立が令和3年度は9月補正で1億2,000万円、3月補正で4億円を積立て合計5億2,000万円に対し、令和4年度は3月補正の5,000万円の積立てにとどまったことにより、4億7,000万円の減となりました。

また、財政調整基金への一般財源等の積立については、令和3年度は12月補正と3月補正を合わせ2億6,100万円余りに対し、令和4年度は12月補正と3月補正を合わせ1億4,200万円余りであったことから、1億1,800万円余りの減となるなど、積立金全体では前年度に比べ5億2,100万円、62%の減となりました。

(その他の質疑項目)

【補助事業費が前年度と比較して50.4%減少した主な要因について】

ほか1問

町は、株式会社マーケットエンタープライズと連携協定を締結し、リユースの推進を行っています。(広報あいかわ5月号より抜粋)

一方、昨今のプラスチック

公明党  
(井出一己 議員)

**問** 令和4年度国民健康保険税が前年より3,783万6,000円減の主な理由について

**町長** 団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行したことに併せ、社会保険の適用再拡大が行われたことが主な理由。

まず、現年度課税分の状況として、国保の被保険者数は、平成28年10月から社会保険の適用拡大により、短時間労働者の方なども社会保険に加入できることになった影響から、年々減少傾向にあります。

加えて、令和4年度は団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行したと併せ、社会保険の適用再拡大が行われた影響により、被保険者数は前年度と比べ613人の減となったことから、保険税収入額では3,481万

3,000円の減となりました。

また、滞納繰越分は、

令和3年度の現年分の収率向上などにより、令和4年度に繰り越した徴収すべき収入未済額が減少したことなどから、収納額は前年度と比べ302万3,000円の減となり、保険税の合計では前年度より3,783万6,000円の減となりました。

(その他の質疑項目)

【町税が前年比4.4%、3億2,373万8,000円増の主な要因について】  
ほか4問



国民健康保険加入者は減少傾向にあります。

令和あいかわ  
(茅孝之 議員)

**問** 自主財源の構成比が前年対比5.2ポイント増加した主な要因について

**町長** コロナ禍からの景気回復や、海外拠点の生産活動の正常化等により、町民税などで増収となったことが主な要因。

自主財源のうち町税は、個人町民税がコロナ禍からの景気回復に伴う雇用の増収となったほか、法人町民税は、一部の大手企業の業績回復等により増収となり、個人・法人を合わせた町民税全体では、前年度と比較し2億5,400万円余りの増収となりました。

また、固定資産税が工業系地域の地価上昇等により、3,500万円余りの増収となるなど、町税全体は3億2,300万円余りの増となりました。

更に、繰越金では令和2年度の形式収支額に対し、令和3年度の形式収支額が多かったことにより、1億4,300万円余りの増と、財産収入では土地売却収入の増などで、4,800万円余り増えました。

加えて、寄附金では、ふるさと納税による寄附金額の増加などにより、4,700万円余りの増となるなど、自主財源全体では前年度に比べ5億700万円余りの増となりました。

一方で、依存財源は、国庫支出金が6億3,100万円余りの減となるなど、依存財源全体は9億8,500万円余りの減となった結果、相対的に自主財源の構成比が前年度より5.2ポイント増加しました。

(その他の質疑項目)  
【人件費比較増減率が1.5%増加した主な要因について】ほか2問

議会改革推進特別委員会

愛川町議会では、より一層開かれた議会を実現するため、本特別委員会を設置し、議会の在り方や、運営方法などについて調査を行いました。

8月29日の本会議では、茅副委員長が、第9回から15回までの会議で行われた協議事項について、上記のとおり中間報告を行いました。内容の一部は次のとおりです。



協議項目	報告内容
区長会からの要望(議員定数削減)に関する取り扱いについて	議員定数削減の考えについては、全会一致を目指し議論を重ね協議してきたが、各本会派の意見を歩み寄せることができず、本委員会内では、これ以上の議論はできないと判断した。 したがって、議員定数の削減について賛成する議員自ら、議員提出議案を作成し、議場において最終的な判断をすることとなった。
タブレット端末の運用基準について	タブレット端末の運用基準については、既にタブレット端末を導入している先進自治体を参考に「愛川町議会タブレット端末使用基準」を作成し、協議した結果、全会一致で使用基準のとおり運用することで決定した。
オンライン会議の開催について	オンラインを活用した委員会の運営に関して必要な事項を定めるため、オンライン委員会の実施に伴う整理すべき諸課題を確認しながら、「愛川町議会オンライン委員会開催要項」の協議を行い、全会一致で要項のとおり運用することで決定した。

# 討 論

各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

## 賛成 あすかみらい 木下 眞樹子 議員

全議案に対し、賛成の立場から、要望を交えながら討論します。

【ふるさと納税の大幅収入増などもあり、町税が前年度比較で4.4%増】  
歳入について、町税が前年度比較で4.4%の増となりました。ふるさと納税の大幅な収入増加は、協力企業があつてこのことと評価します。内陸工業団地についても、撤退する企業が出てもすぐに物流企業の進出があることは、大変喜ばしいことと考えます。製造業の進出ならば、雇用のことなどを考えると本町にとって良いのではないかと考えます。



## 【職員の健康管理に努める】

総務費における職員健康管理経費では、産業医や臨床心理士を配置し、職員の心身の健康管理に努め、自分自身と町民の生活に欠かせない業務に関わる職員等を対象に、感染症の検査を自宅で行えるような検査キットを購入したことを評価します。



職員等を対象に、感染症検査キットを購入しました。

【分別収集に努力した結果、ごみ収集実績が減少】  
衛生費における、塵芥処理管理経費について、ごみ収集実績が減少して

## 賛成 公明党 岸上 敦子 議員

全議案に対し、賛成の立場から討論します。

【高齢者のデジタル格差の解消に向けたスマホ講座を実施】  
民生費において、高齢者福祉では、令和4年度より高齢者買物支援事業が施設のサービス送迎車両の空き時間を活用し、月1回を基本とし、試行的に運行が開始をされ、延べ35名に対し買物支援を実施できたことを評価します。必要とされる方々へ実施主体である社会福祉法人やボランティアと協議を進め、本格的実施に向け取り組みが展開されることを願います。

【町民皆さまの利用を期待。骨粗鬆症予防に係る事業】  
衛生費において、健康対策では、骨粗鬆症予防



高齢者スマホ教室を実施しました。

また、アクティブシニア支援事業では、KDDI株式会社が無償で実施する、シニア向けスマートフォン講座を開催し、社会のデジタル化が急速に進む中、スマホに触れたことのない高齢者に対し、基本操作やアプリの使い方について学んでいただいたことは、デジタル格差の解消に向けた一歩となったことを高く評価します。

に係る事業を、平成8年5月から長期にわたり展開しています。令和3年度から、新型コロナウィルス感染症拡大防止を図りつつ、年11回、骨粗鬆症予防相談会や測定会を実施し、申込み制で個別に骨密度測定及び結果説明や生活、食事指導を実施しています。  
骨粗鬆症になると骨折の観点から、早期予防の観点から、多くの方が利用されることを期待しています。  
【国保ヘルスアップ事業に取り組み、特定健康診査の受診率向上】  
国民健康保険特別会計については、令和4年度からは、医療費適正のための保健事業の総称である国保ヘルスアップ事業を新たに取り組んだことから、特定健康審査の受診率では受診勧奨事業により、前年度と比較して5.4ポイント



ントアップの42%となりました。

また、本町では令和4

年度は4名の糖尿病患者に6か月間の専門的な保健指導を民間委託で行ったことで、それまでの数値が改善され、人工透析への移行を防ぐことができたことを高く評価します。

今後、さらに医師会との連携を強化し、事業の推進を期待します。

賛成 鈴木 信一 議員

各会計決算議案に対し、意見と要望を交え、賛成の立場から討論します。

【勤労者生活資金預託事業の利用実績向上】

商工費における、勤労者生活資金預託事業は、勤労者福祉の増進と健全な生活の安定を図ることを目的に200万円の限度額で自動車購入や教育、リフォーム資金等が低利かつ7年間の償還期間であり、利用実績は前年度

比で増えています。引き続き、同制度の周知を図るよう要請します。

【教職員多忙化解消に向けた取り組みを】

学校教育について、教育相談事業が行われているものの、令和3年度のいじめ認知件数は小・中学校合計で94件、不登校人数は小・中学校の合計で150名と増加傾向にあります。

また、療養を必要とする教職員の方もいます。いじめ、不登校対策の強化では教育総合相談センターの設置を検討していただきたいと思えます。教職員の業務の見直し、効率化、給食費の公会計化など、教職員が児童・生徒に寄り添った教育が行われるよう多忙化解消に努めていただきたいと考えます。

また、小・中学校の給食については無償化を実施し、子育てを応援していただきたいと思えます。収支予算に対する決算状



教職員の確保に努めています。

【防災性の強化を図り、浸水対策工事を実施】

水道事業会計において、水道の安定供給のために、令和4年度は建設改良事業として戸倉浄水場第2

浄水池浸水対策工事を実施し、河川増水時における浸水対策工事を行うことにより、防災性の強化が図られたほか、中津二井坂地区などで配水管の布設替え工事をを行い、配水機能強化と維持管理に努められたほか、水質汚染の防止や事務処理の迅速化と経営の合理化、省力化を図るとともに収納率の向上に努めたことにより、水道事業の経営、運営を行うための経常的収支予算に対する決算状

況については、予算額に対し決算額が1,064万7,591円の増となるなど、大いに評価します。引き続き、安全で良質な水を需要に応じて安定的に供給し、町民の健康で豊かな生活環境向上に寄与できるよう努めてください。



賛成 令和あいかわ 馬場 司 議員

令和4年度決算の認定に伴う各議案に対する討論を、提言等を交え賛成の立場から討論します。

【スマートフォンなどでモ印鑑登録証明書を取得可能に】

条例議案について、議案第39号、愛川町印鑑条例の一部改正は、法律の一部改正に伴う条例改正

であり、スマートフォン等移動端末設備でも印鑑登録証明書を取得できるなど、利便性が向上されることを適当と判断します。



スマートフォンのみで、コンビニ交付サービスなどが利用できるようになります。

次に、議案第40号、愛川町火災予防条例の一部改正は、蓄電池設備の多様化が進んでいることから、種類や安全性に応じた改正内容で、適当であると判断します。

【自宅療養者への支援の充実】

新型コロナウイルス感染症対策事業等について、蔓延するコロナウイルスに翻弄(ほんろう)されながら、医療機関にも入院できない方への相談をはじめ、自宅療養者への食料支援や、ごみ出し支援まで手厚いサポートを行ったことは、罹患(りかん)した皆さんにとって

大きな力になったもので、高く評価します。

【愛川バスセンターの舗装打ち換え工事は、バス事業者と協議を】

生活利便向上のための施策の推進で、生活交通の確保における愛川バスセンター舗装打ち換え工事は、バスの重量と毎日の駐車頻度を考えれば、度重なる打ち替え工事はやむを得ませんが、今後はバス事業者と協議をし、どのような路盤がベストか、しっかりと検討してください。



愛川バスセンター

# 国へ意見書3件を提出

※意見書の内容は一部抜粋して掲載

◎国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出  
(賛成全員)



国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書

1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償給与制度を継続すること。

2 ゆきとどいた教育を実現するために、小学校の35人以下学級を計画的に進め、中学校での35人以下学級を早急に策定すること。また、30人以下学級の実現に向けて検討すること。

3 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配の配置増など教職員定数改善を推進すること。また、スクール・サポート・スタッフ、介助員等の専門スタッフ職の拡充、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。

4 子どもたちの心に寄り添うための、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月15日

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿

◎保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書の提出  
(可否同数につき、議長裁決により可決)

保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書

1 保育施設の配置基準を引き上げ、保育士の増員をはかること。

2 保育施設・学童保育施設等職員の処遇を改善し、標準的な労働者の年収を確保するための予算を措置すること。また、正規職員としての就労を希望する非正規職員の正規化および雇用安定を促すための支援策を講じること。

3 公定価格を引き上げ、保育職場で働くすべての職員の処遇改善をはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月15日

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策) 殿



提出した意見書は、紙面の都合により要点もしくは要望事項について掲載していますが、左記の2次元コードを読み込むと、意見書の全文をご覧いただけます。



◎現行の（紙の）健康保険証の存続を求める意見書の提出

（賛成8人、反対6人）

現行の（紙の）健康保険証の存続を求める意見書

令和5年6月2日、健康保険証の廃止を含む「番号法等改定法案」が成立し、令和6年秋に現行の（紙の）健康保険証は廃止され、マイナンバーカードへの一本化（マイナ保険証）が基本となることが決定した。しかし、マイナ保険証に別人の個人番号が誤登録されていたケースが明らかになるなど、法案成立後もマイナンバーカードをめぐるトラブルが続いており、住民の不安が広がっている。

厚生労働省はマイナンバーカードを取得しない人に対しては、保険証の代わりとなる資格確認書を発行する方針を明らかにしているが、従来、健康保険証は保険料の納付により自動的に手元に届くことで無保険扱いにならず、いつでも医療を受けられるため、国民生活に深く浸透しているツールである。一方で資格確認書は、申請に基づく任意取得のツールであり、皆保険制度に必要不可欠な健康保険証を任意取得のマイナンバーカードや資格確認書に置き換えることは、皆保険の理念・原理・原則に反するものである。また、保険料を納付している住民においても、資格確認書の申請を失念した場合、医療機関の窓口で資格喪失や無保険扱いとなることが懸念される。

よって、マイナンバーカードの任意取得の原則に照らし、制度やシステムの正確性や安全運用を見ず、国民の理解・賛同も得られない中で、現行の（紙の）健康保険証を廃止することは妥当ではないと判断し、現行の（紙の）健康保険証の存続を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年9月15日

内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣 デジタル担当大臣 殿

●陳情(審査の結果机上配付となったもの)

受理番号	受理年月日	件名	陳情者
10	R5.8.10	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	横浜市旭区四季美台 55-6 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める神奈川県民の会 代表 出井 健三郎
11	R5.8.14	令和6年度における「透析患者の通院への助成」についての陳情	横浜市神奈川区台町 7-2 ハイツ横浜 403号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 府録 譲治
12	R5.8.14	令和6年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情	横浜市神奈川区台町 7-2 ハイツ横浜 403号 特定非営利活動法人 神奈川県腎友会 会長 府録 譲治

※その他陳情の議決結果一覧表は、次ページに掲載しています。

陳情のゆくえ

「マチイロ」アプリの紹介

本町を含む各自治体の広報紙が閲覧できる無料アプリ『マチイロ』でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。スマートフォンやタブレットなどで、手軽にご覧になることができます。左記にある2次元コードから専用ページにリンクしますのでぜひご利用ください。



マチを好きになるアプリ



# 常任委員会での審査

令和4年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で8月に現地調査を行い、また、9月7日から12日までは、各事業に対する質疑及び事務事業評価を行いました。内容の一部を紹介します。

## 総務建設常任委員会

8月3日に、愛川バスセンター舗装打替工事や、半原分署訓練塔塗装修繕、細野浄水場送水ポンプ流量計更新工事など、7箇所の現地調査を実施しました。また、9月7日及び11日は各事業に対する質疑を行いました。

**現地8/3** 馬渡・滝ノ沢213号線空間整備

**【評価】** 良好かつ適正に執行されている。



馬渡・滝ノ沢213号線空間整備の調査

### 職員給与費

**問** 危機管理室へ防災監の配置による成果について

**答** 昨年8月に実施した「総合防災訓練」においては、多様な機関が連携した「負傷者の搬送」など新たな実践的な訓練を企画・立案できたほか、これまでの自衛官時代の経験を生かし、被災現場での対応経験を基に、行政区の自主防災組織や町民皆さんへの防災意識を高めるための普及啓発活動などにも取り組むことができ、地域防災力の向上につながっているものと認識しています。

質疑9月7日

**問** 昨年8月に実施した「総合防災訓練」においては、多様な機関が連携した「負傷者の搬送」など新たな実践的な訓練を企画・立案できたほか、これまでの自衛官時代の経験を生かし、被災現場での対応経験を基に、行政区の自主防災組織や町民皆さんへの防災意識を高めるための普及啓発活動などにも取り組むことができ、地域防災力の向上につながっているものと認識しています。

### 美化推進事業費

**問** 田代天王河原入口横に設置した環境美化協力金募金箱の運用状況について

**答** この募金箱は、令和4年4月末に河川利用者

質疑9月11日

**問** 田代天王河原入口横に設置した環境美化協力金募金箱の運用状況について

**答** この募金箱は、令和4年4月末に河川利用者

の環境美化意識のさらなる向上を図るため、「田代・天王河原」の車両進入口付近に、本町の観光キャラクター「あいちゃん」のパネルと一体となった募金箱を設置したもので、利用者の目に留まるよう特徴的な形状にすることで、募金への積極的な協力を呼び掛けます。

## 教育民生常任委員会

協力金の状況は、毎週開庁日初日に職員が募金の回収を行い、令和5年3月末までに9万2,565円のご協力をいただきました。

8月9日に、古民家山十郎塗装修繕や、中津公民館光回線新設、愛川中原中学校体育館照明器具LED化改修工事など、8箇所の現地調査を実施しました。また、9月8日及び12日は各事業に対する質疑を行いました。

**現地8/9** 中津神社周辺通学路カラー舗装工事

**【評価】** おおむね良好かつ適正に執行されている。



通学路カラー舗装工事の調査

質疑9月8日

**問** 子育て応援リフレッシュ事業費成果と課題について

**答** 成果は、利用料の関係からベビーシッターの利用を控えていた方が、本助成制度を活用することで、利用しやすくなったという声をいただいていることなど、利用者の育児ストレスの解消やリフレッシュに繋がったも

のです。

課題は、本町に在住するベビーシッターが少ないことや、令和4年度より開始した新規事業であるため、制度が浸透していないことなどから、当初の見込みより少ない4件の助成実績にとどまったものです。

質疑9月12日

**問** 懐かしの学び舎体験学習事業費について

**答** 成果は、小学校3年生が学ぶ『人々の生活の様子』が時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解する』という内容について、地域で実際に使われてきた道具を間近で見ながら学習できたことで、教科書や視聴覚教材では味わえない学びがあったことなど、昔の道具や人々の生活についての理解が深まったものと認識しています。

## 令和5年 第3回定例会議決一覧表

### ●全会一致の議案

議案の内容はP4～5を参照

議案番号	案 件	議決結果
町長提出第38号	教育委員会委員の任命について	同 意
町長提出第39号	愛川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第40号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出第41号	令和4年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出第42号	令和4年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出第44号	令和4年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町長提出第45号	令和4年度愛川町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町長提出第46号	令和4年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町長提出第47号	令和5年度愛川町一般会計補正予算（第5号）	可 決
町長提出第48号	令和5年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
町長提出第49号	損害賠償額の決定について（職員の業務遂行上の過失に係る損害賠償）	可 決
陳 情第6号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める陳情	採 択
議員提出第3号	愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議員提出第4号	愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
議員提出第5号	国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の実現を求める意見書の提出について	可 決

### ●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

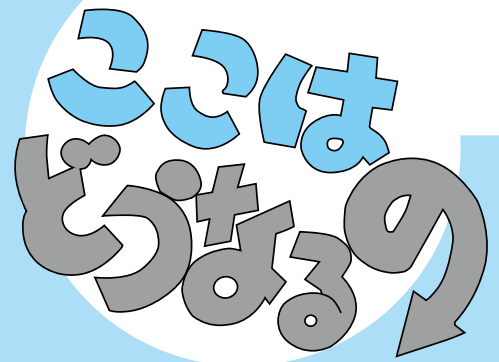
議案番号	議員名 議案等の件名	公明党			日本共産党 愛川町議員団			あすかみらい			令和 あいかわ			無所属		議決結果	
		井出 一己	佐藤 りえ	岸上 敦子	鈴木 信一	井上 博明	小林 敬子	山中 正樹	小島 総一郎	木下 真樹子	阿部 隆之	馬場 司	茅 孝之	渡辺 基	佐藤 茂		玉利 優
町長提出第43号	令和4年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
陳 情第7号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	採 択 ※1 議長裁決
陳 情第8号	現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択
陳 情第9号	従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書提出の陳情															※2 みなし 採 択	
議員提出第6号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書の提出について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決 ※1 議長裁決
議員提出第7号	現行の（紙の）健康保険証の存続を求める意見書の提出について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決

※1 議長裁決：賛否それぞれ同数となったときは、議長がその案件の可否を決定すること。

※2 みなし採択：同一会期で当該請願・陳情と同趣旨の議案が可決または同趣旨の請願・陳情を採択している場合等に、当該請願・陳情についても採択したものとみなすもの。

※本会議において、議長は裁決に加わりませんが、陳情第7号及び議員提出第6号については、可否同数につき、議長裁決により可否を決定したものです。

# 一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。  
なお、第3回定例会の会議録は、12月頃に完成予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末で、ご覧になれます。

## 茅 孝之 議員 P.14

- ・政治に興味を持ってもらう教育について
- ・投票率の向上について

## 阿部 隆之 議員 P.16

- ・小中学校周辺における車の速度制限について
- ・学校周辺道路にゾーン30導入の考えについて

## 鈴木 信一 議員 P.15

- ・町内循環バスの利用促進について
- ・屋外にバスケットゴールを設置する考えについて

## 玉利 優 議員 P.17

- ・稼ぐ自治体の認識について ほか

## 井上 博明 議員 P.15

- ・学校トイレの洋式化と通学路の安全対策について
- ・国民健康保険制度における均等割の免除について ほか

## 小林 敬子 議員 P.17

- ・災害対策について
- ・幹線道路における振動対策について ほか



©愛川町

## 岸上 敦子 議員 P.16

- ・共生社会の推進について

町長 小中学校において、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していく主権者教育の充実を図るため、主権者として求められる力を育てていきます。

### 社会の問題を判断 主権者教育の充実

**問** 選挙における投票率の向上は、子どもの頃から政治に対して興味や関心を持ってもらう教育が必要です。そこで、小学校から政治に対しての質の高い教育が必要と考えますが、町の考えを伺います。

政治へ関心向上  
質の高い教育へ



茅 孝之 議員

### 投票しやすい環境の整備

#### 若者への意識向上 SNS利用し啓発

**問** 昨今、選挙における投票率の低下の原因は、若者の政治離れのほか、高齢化の進行により、投票所まで行くことが困難など、様々な理由が挙げられます。

民主主義の根幹である選挙は政治参加の第一歩であり、投票率向上のため、より投票をしやすい環境の整備が必要と考えますが、町の考えを伺います。

町長 町民皆さんが選挙への関心が持てるよう、広報紙や防災無線等で周知し、若者世代への意識向上を図る為にSNSを活用した啓発のほか、愛川高校での模擬投票の実施や、18歳になった有権者にバスデーカーを送付しています。  
投票しやすい環境の整備については、中津公民館、半原公民館の2カ所を期日前投票所として増設しました。



愛川高校で模擬投票が実施されました。

**町長** 町民の外出支援と利便性向上に資する重要な交通手段として、その役割を担っています。改正された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づき「地域公共交通計画」の策定を予定し、さらなる利用促進や利便性向上に努めていきます。

**重要な交通手段  
地域公共交通計画**

**問** 町内循環バスの果たしてきた役割と、今後の利用促進の取り組みについて伺います。

**循環バスの役割  
利用促進の取組**



すずき 鈴木 信一 議員



屋外へのバスケットゴールの設置が望まれます。

**住環境の影響踏まえ  
都市計画公園で検討**

**問** 町立体育館などの屋内にはバスケットゴールがありませんが、屋外には本町が管理するバスケットゴールがありません。バスケットボール人気の高まり等を踏まえ、予約なしで気軽に利用できるよう、屋外にバスケットゴールを設置する考えについて伺います。

**屋外バスケットゴール設置**

**町長** 気軽に利用ができる屋外のバスケットゴールの設置を望む声が、小学生とのミーティングや「わたしの提案」などで届いていますので、周辺の住環境への影響などを踏まえた中で、現在、防災機能を備えるため整備計画を進めている第1号公園以外の都市計画公園の中で、整備ができるよう検討しています。

**町長** トイレの洋式化率は、小学校では64.4%、中学校では58.6%、小中学校61.9%、体育館や屋外トイレを含めると、小・中学校全体で61.2%です。

誰もが使いやすいトイレにするため、洋式化率の向上に努めます。

**小中全体61.2%  
向上に努力する**

**問** 本町では、学校トイレの洋式化の計画が進められていますが、学校トイレの洋式化の普及促進に向けた取り組みについて伺います。

**学校トイレ洋式化  
普及促進への取組**



いのうえ 井上 ひろあき 博明 議員



**町長** 子どもに関わる均等割の減免制度を独自に拡大していくことは、様々

**減免拡大は困難  
軽減を更に要望**

**問** 国民健康保険税について、本町独自の施策として、18歳以下の全ての加入者の均等割を免除する考えについて伺います。

**町独自の国保税均等割免除**

な面から難しいものと認識しています。

今後も、国の責任と負担により、軽減制度の適用年齢や、軽減割合について、更なる拡大を国に對し要望していきます。

【その他の質疑項目】  
中津工業団地第1号公園再整備について



学校トイレが洋式へ更新されます。

認知症の取り組み  
正しい知識や理解



あつき 敦子 議員  
きしがみ 岸上



**問** 認知症に関する正しい知識・理解を深められるよう、本町の取り組みについて伺います。

**養成講座の開催  
町の広報へ掲載**

町長 認知症への理解促進を図るため、地域や職域、高校などで「認知症サポーター養成講座」を開催しているほか、毎年9月の「世界アルツハイマー月間」には、町広報へ掲載するなど、認知症への理解を呼びかけています。



認知症サポーター養成講座を開催しています。

**認知症保険の加入制度**

**問** 認知症本人や家族などの不安解消につながる損害賠償保険加入制度導入の考えについて、伺います。

**事故等に対する補償課題を整理し進める**

民生部長 2007年に認知症の方が線路内に侵入して事故に遭った際の振替輸送費等について、鉄道会社から遺族が賠償を求められた事例をきつ

今後、認知症の方が増加する傾向にありますが、本制度については、課題を整理しながら、慎重に進める必要があるものと考えています。

小中学校の周辺  
車の速度制限へ



あべ 隆之 議員



**問** 小・中学校周辺の県道や町道の速度制限の現状について伺います。

**一般道路時速40キロ  
生活道路時速30キロ**

町長 一般道路における規制基準は、市街地を通り歩行者が多い道路では時速40キロ、また地域住民の日常生活に利用される生活道路は、原則同30キロとされています。

町内における学校周辺市街地内の県道等の一般道路については、同40キロ、また生活道路は同30キロとなっています。

**学校周辺にゾーン30導入へ**

**問** 小・中学校周辺道路にゾーン30及びゾーン30プラスの導入について伺います。

**一定の効果あり  
慎重な対応必要**

町長 ゾーン30及びゾーン30プラスは、一定の効果認められている一方、区域内に居住する住民の皆さんに対しても交通規制が及ぶことになり、地域住民の皆さんとの協議や調整を十分に行い、合

意形成を図る必要があるなど、慎重な対応が求められます。

本町に対してゾーン30及びゾーン30プラスの指定に関わる相談などが寄せられた場合には、その必要性や指定をしようとする区域にお住まいの方々への影響など、様々な側面から厚木警察署と検証を行うとともに、そのほかの交通安全対策の検討なども含めた中で、協議をしていく必要があります。



導入について慎重に検討していきます。



**3倍増で黒字化 寄付半分が経費**

町長 主な成果は、令和3年度から返礼品に追加したラッシュジャンパンの入浴剤等に多くの寄付が集まり、令和3年度の寄付額は令和2年度の約3倍となりました。

**3倍増で黒字化 寄付半分が経費**

**問** 多くの自治体で財政運営が厳しい中「稼ぐ自治体」という言葉を耳にします。が、本町におけるふるさと納税の成果と課題について伺います。

**稼ぐふるさと納税 課題とその成果**



たまりまさる 議員 玉利 優

課題は、自治体間の返礼品競争が激化している

また、平成29年に策定した公共施設等総合管理計画の基本的な方針においても、PFIなどの官民連携による施設整備や、管理運営方法の見直しを検討することを掲げ、持続可能な行財政運営と公共施設の維持管理の観点

**重要性を認識 経費削減に疑問**

町長 現状については、効率的な施設運営の観点から、役場庁舎など公共施設の照明設備等について、ESCO事業による更新を予定するなど、民間事業者の資金やノウハウを活用し取り組んでいます。

**問** 近年、PPPやPFIなどの公民連携が進んでいますが、町の現状と課題について伺います。

**公民連携による現状と課題**

ことや、頂いた寄付の約半分が返礼品などの経費

に使われることなどが挙げられます。



※PPP: 公民連携による公共サービスの提供手法のこと。  
 ※PFI: 公共施設等の建設、維持管理等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。

から、その重要性を認識しています。

課題は、民間活力の導入において、民間事業者が運営により利益を生み出せることが前提であるため、必ずしも事業費の削減につながるものではないとの指摘がされています。

【その他の質疑項目】  
 町民憲章を見直す考えについて

町長 直ちに町職員による現地確認を済ませ、その状況と住民からの声を併せて管理者である厚木土木事務所に対し早期の補修を要請したところ、すでに現地確認を行い、補修工事に向けて準備を進めているとのことです。

道路課長 補修工事の内容容について県に確認した

**問** 半原日向橋付近の中津川堤防に生じている亀裂への対応について伺います。

**半原日向橋の堤防 ひび割れへの対応**



こばやしけいこ 議員 小林 敬子

町長 幹線道路における振動の発生原因は、地盤や建物の構造など、様々な要因が絡み合っている場合が多く、原因の特定

**問** 幹線道路の沿道にお住いの住民から、大型車の通行による激しい振動が起こる。新たな対応が必要ではないかとの声があります。本町の対応について伺います。

ところ、堤防の亀裂について調査中で、補修工法等は検討中とのことです。

**振動原因の特定困難 運行経路を検討要請**

町長 幹線道路における振動の発生原因は、地盤や建物の構造など、様々な要因が絡み合っている場合が多く、原因の特定

【その他の質疑項目】  
 校舎の雨もり対策について

**問** 幹線道路の沿道にお住いの住民から、大型車の通行による激しい振動が起こる。新たな対応が必要ではないかとの声があります。本町の対応について伺います。

は難しい状況です。今後は、住宅が近接する幹線道路での車両走行速度の遵守や、住環境を考慮した運行経路の設定を検討していただくよう、内陸工業団地協同組合などの関係団体を通じ、各企業へ働きかけを行うなど、ハードとソフト両面から対策を講じていきます。

早急な対応が望まれます。(半原日向橋付近の中津川堤防)



## 第37回 愛川町ふるさとまつり

# 議場見学会に57名の方が来場!!

愛川町議会では、より身近で開かれた議会を推進するため、10月22日(日) 議場見学会を開催しました。当日は57名の方が来場され、「町議がワンチームとなり、町政発展に向けて全力で取り組んでいただきたい」といった議会への要望や期待など、多くの意見が寄せられました。



## 第29回 議会クイズ

- 問1** 令和5年第3回臨時会は何月何日に開催されたでしょうか?  
①8月29日 ②9月15日 ③10月16日
- 問2** 令和5年第3回定例会で愛川町議会委員会条例の一部改正条例が制定されたことに伴い、広報広聴常任委員会の定数は何人となったでしょうか?  
①8人 ②12人 ③14人
- 問3** 第37回愛川町ふるさとまつりにおいて、議場見学会には何名の方が来場されたでしょうか?  
①29名 ②37名 ③57名

クイズの答えはこの議会だよりのどこかにあります。正解者の中から抽選で3名の方に商品券をお贈りします♪たくさんのご応募をお待ちしています!



《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想等をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。紙面の見やすさなどについてもご意見をお聞かせください。

《しめきり》 11月30日(木) (郵送の場合は当日消印有効) ☆正解と当選者は次号で発表します。

- 《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392  
角田251-1 議会事務局
- ファクスの場合 046-286-5021
- 電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp
- オンラインでの場合 右記の2次元コードを活用して、応募ができます。



# 第10回町民との意見交換会における意見・提言と町の回答

本年5月に実施した第10回愛川町議会意見交換会におけるご意見・ご要望を精査したうえで、町へ申し入れを行うべきとした意見を7月26日に小野澤町長へ報告し、8月17日に回答がありましたので、その一部を報告します。

## 意見、提言等要旨

本厚木駅から愛川町役場までのバスは2系統あるが、愛川町を通る区間の時間と経路が重複しているため、時間間隔が一定になるように関係機関へ要望するよう検討すること。

児童館のプレイルームのエアコン設置費用等については、町の補助対象外であるが、エアコン設置や更新には高額な費用がかかることから、補助対象にするよう検討すること。

三増地内において、外国籍の方が車を解体しており、その際に発生するオイルが土壌に浸透し、町の河川を汚染させる恐れがあるため、河川を汚染させない為の条例を定めるよう検討すること。

教育施設のプール清掃について、教職員の多忙解消のため、業者等へプール清掃を委託するよう検討すること。

## 町からの回答

本件は、町民の方からも直接町にご連絡をいただいていたので、6月12日に当該路線を所管する神奈川中央交通東株式会社厚木営業所に、内容をお伝えし、「全体の営業路線の配車や同便を利用している方への影響などを勘案しながら、今後ダイヤ改正を行う際に参考とさせていただく」旨の回答をいただいています。  
また、併せて、7月3日に同社から要望者あて電話にて上記の内容を説明しています。

児童館のエアコン設置に係る補助については、標準的な設備である和室や事務室兼図書室を対象としており、プレイルームのエアコンは補助対象外設備となっておりますので、行政区の判断のもと設置いただいています。  
したがって、プレイルームへのエアコン設置費用は、引き続き、行政区において負担をお願いしたいと考えていますが、近年の酷暑を踏まえ、今後の課題といたします。

自動車解体業は自動車リサイクル法による許可が必要となる事業であり、施設の基準等についても同法律により定められています。  
また、自動車解体業に該当しない場合でも、オイルの地下浸透については、水質汚濁防止法や廃掃法、神奈川県の実環境の保全等に関する条例などにより規制対象となっておりますので、町で新たに条例を規定する考えはありません。  
なお、ご意見のありました事業者については、現地を確認して、汚染などの恐れはありませんでしたが、今後も注視していくとともに、必要に応じて神奈川県と連携し、対応していきます。

町立小学校につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていたプール授業を、本年度、4年ぶりに再開しましたが、再開にあたりプールサイド及びプール槽には汚泥等が堆積していたことから、汚れが著しい一部の学校には業者委託し対応しました。  
また、町立中学校については、部活等で使用していたことから、例年どおり、教職員等による清掃作業を実施しています。

## 第28回議会クイズの答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

〈正解〉  
問1・②14日

問2・①国民健康保険

問3・③京都府亀岡市議会

〈当選者〉  
問1 補正予算案(第1号)

近藤 宏規 様

五十嵐 弘美 様

齋藤 華菜 様

以上3名



議会ホームページ

紙面の都合によりすべての回答を紹介できませんでしたが、スマートフォン等で左の2次元コードを読み込むと、回答の全文をご覧いただけます。

## 令和5年第4回12月定例会日程(予定)

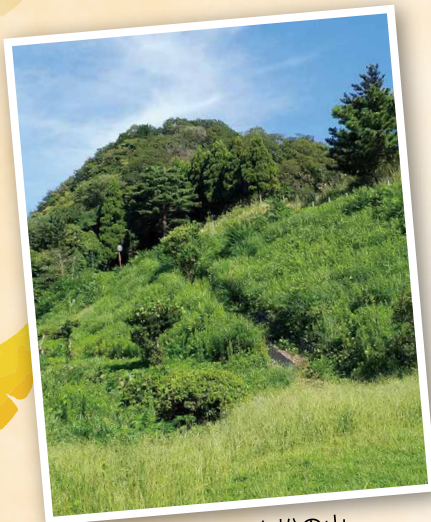
月	火	水	木	金	土	日
11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	2	3
				本会議 (提出議案の説明)		
4	5	6	7	8	9	10
本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会		
11	12	13	14	15	16	17
			本会議 (委員長報告・ 質疑・討論・採決)			

次回、第4回定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は11月22日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

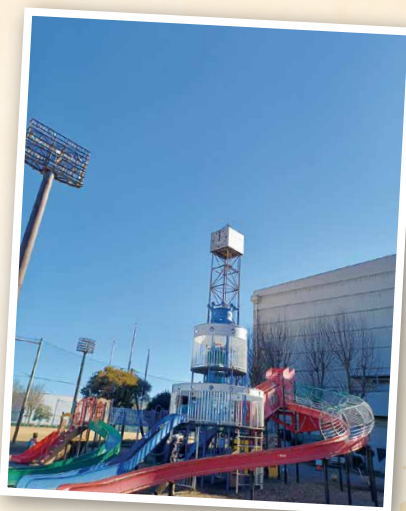
## 次回定例会のお知らせ

# あいかわ・ほっこり写真館

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、季節の移り変わりが感じられます。  
 今号でも、担当する委員一人ひとりが愛川町の魅力を伝えるため、  
 町内を巡り写真を撮影してきました。  
 それぞれの写真をみて、こころが「ほっこり」していただければ幸いです。



三増合戦旗立松の山



青空の下のトリム広場



放流している所をみたいなあ  
 ～宮ヶ瀬ダム～



浅利明神跡地



仏果山のシルエットすてき!!



スズメ「ミカちゃんなにしているの」  
 猫「スーちゃんこそ何なのよ」

◎議会クイズは18ページに掲載しています。

## 編集後記

今号では、現委員が作成する最後の議会だよりとなりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、これまでの2年間の表紙写真などについては町民皆様の気持ちや和むような「あいかわ・ほっこり写真館」として、議員が町内で撮影した写真で構成をしてまいりました。また、9月の定例会や、正副議長をはじめ監査委員と議会運営委員会委員、各常任委員会の選任などを行った臨時会の内容も掲載しています。今後より多くの方に読んでいただける議会だよりを目指して取り組んでまいります。2年間ありがとうございました。

### 広報広聴常任委員会

委員長 岸上 敦子  
 副委員長 茅 孝之

委員 玉利 優

委員 阿部 隆之

委員 佐藤 茂

委員 小林 敬子

委員 井出 一己  
 委員 山中 正樹  
 委員 小島 総一郎  
 委員 井上 博明